

大阪大学科学機器リノベーション・工作支援センター
研究設備リノベーション支援室長（准教授）公募

募集人員：准教授 1 名

所 属：大阪大学科学機器リノベーション・工作支援センター
研究設備リノベーション支援室

業務内容：別紙のとおり

着任時期：平成 29 年 4 月 1 日

応募資格：研究設備・機器の共用推進に必要な経験と知識を有し、教育研究支援の遂行に十分な
能力と熱意のある方（博士の学位を有することが望ましい）

給 与：国立大学法人大阪大学年俸制教職員給与規程による

任 期：平成 29 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日

提出書類：

- 履歴書（形式自由、写真貼付、現住所、連絡先（電話、e-mail）、学歴、職歴、
賞罰等を記載）
 - 業績目録（論文、解説・総説、国際会議発表、著書、外部資金獲得実績、
特許・知財他特記事項等）
 - 研究業績の概要 A4 1 枚程度（業績目録を適宜引用すること）
 - 研究・教育支援に関するこれまでの経験等について A4 1 枚程度
 - 主要論文別刷 3 編程度（コピー可）
 - 着任後の研究設備リノベーション支援室長としての抱負（2,000 字以内）
（本センターリユース機器の利用や講習会・セミナー参加経験がある場合は、交えて
記載してください）
 - 推薦状 1 通
 - 応募者についての参考意見を伺える方 2 名の氏名とその連絡先
- 上記書類の紙媒体のほか、同内容が入った CD-ROM または USB メモリの電子媒体
1 部同封すること。

締 切：平成 28 年 12 月 7 日（水）必着

書類提出先：〒560-0043

大阪府豊中市待兼山町 1-2 文理融合型研究棟内 2F 203
大阪大学科学機器リノベーション・工作支援センター事務室

専門職員 武上 宛

※封筒に「准教授応募書類在中」と朱書し、簡易書留で送付のこと

選考方法：（1）書類審査による第一次選考

（2）面接（第一次選考審査合格者に対して）

※面接の際にかかる交通費は、個人負担

問合せ先：電 話：06-6879-6709

E-mail: kagakukikirino [@] office. osaka-u. ac. jp

Web : <http://www.reno.osaka-u.ac.jp/>

備 考：本応募で取得した個人情報、当該教員選考以外の目的には一切使用しません。
なお、提出書類等は返却しませんので、予めご了承下さい。

業 務 内 容

リユース事業の運営

- 学内機器・設備の復活・再生支援
- 機器・設備の全学共同利用制度の運営
- 共同利用機器利用ユーザーへの分析・技術相談支援
- 機器所有部局との各種連絡・調整
- 学外共同利用制度の運営・利用コーディネート
- 機器共同利用促進のための講習会・セミナーの企画・開催
- 教育支援プログラムの企画・制作
- 共同利用 **Web** マネジメントシステムの管理
- その他の機器共用等に関する業務

研究設備リノベーション支援室のマネジメント

- 同支援室職員への業務指示、勤務管理
- 予算管理
- 人材育成
- その他同支援室の各種管理業務

対外対応・その他

- 学内リサイクル掲示版の運用
- 共同利用に関する他大学との情報交換・交流
- 学外利用促進のための広報活動
- センター紹介パンフレット及びニュースレター作成
- 各種報告書・申請書等の作成

科学機器リノベーション・工作支援センターの運営や研究設備リノベーション支援室の運営に係わる業務

本センターは、学内共同教育研究施設として、本学における教育研究環境の効率的な整備充実を図ること（教育研究支援）を目的としていることから、今回公募する職種については、研究業務よりも上記業務を優先します。

(参考例)

(記載上の留意点等、一応の目安です)

業 績 目 録

豊 中 三 郎

- A. 学術論文 (学協会誌に掲載された原著論文)
- B. 解説・総説
- C. 国際会議論文 (国際会議の proceedings に掲載された論文)
- D. 著書
- E. 外部資金獲得実績
- F. 特許・知財等の実績
- G. 特記事項等

の順番に掲載する。

記載にあたっての一般的注意事項

1. 出版済みのもののみ記載する。
2. 受理済みのものは、「印刷中 in press」として加えることができる。
3. 投稿中 (申請中) のものは不可。
4. 発表年の古い順に通し番号をつけて記載する。
5. 著者名は全員記入する。
6. 該当著者を下線で表示する。

A. 学術論文

1. Creation of Quasi-Stable Lattice Defects by Electronic Excitation in SiO₂
S. Toyonaka, T. Suita, and U. Takatsuki
Phys. Rev. Lett. 51(1983)423-426.

B. 解説・総説

1. 無機非金属における光化学反応
高槻裕子、豊中三郎
放射線化学、40(1985)18-25.

記載にあたっての留意点

- ・(学術論文の場合と同じ。)

C. 国際会議論文

1. Self-Trapped Excitons in Amorphous and Crystalline SiO₂

T. Suita, S. Toyonaka, and U. Takatsuki

Proceedings of the International Conference on The Physics and Technology of Amorphous SiO₂, (Plenum, New York, 1988), 135-141.

記載にあたっての留意点

- ・国際会議名を明記する。
- ・Proceedings の出版社、印刷所の場所、印刷年を明記する。
- ・Abstract 集(Extended abstract も含む)は不可。

D. 著書

1. Structure and Imperfections in Amorphous and Crystalline Silicon Dioxide

S. Toyonaka, T. Suita, and U. Takatsuki

(John Wiley and Sons, LTD, New York, 2000)

記載にあたっての留意点

- ・出版社、出版都市名、出版年を明記する。
- ・分担執筆の場合は、該当する部分（章、節など）を明記する。
- ・翻訳書は著書には入れない。

E. 外部資金獲得実績

F. 特許・知財関連の実績

G. 特記事項等